

ISO14001、エコアクション21、エコステージ比較表

	ISO14001	エコアクション 21	エコステージ
規格制定者	ISO（国際標準化機構）	環境省	一般社団法人 エコステージ協会
ステージ	ステージなし	ステージなし ISO14001 と同等レベルに近い	ステージ1からステージ5までステップアップ可能。ステージ2がISO14001同等
認証登録範囲	要求事項なし、組織が設定	組織の全事業・全事業所が必須	要求事項なし、組織が設定
グリーン調達基準への対応	国内、海外の組織	国内の組織	国内の組織
重点環境管理項目（著しい環境側面）の決定	膨大な労力の作業が必要	環境省作成のエクセル様式に記入、かなりの労力を要する	「ステップ1評価」で評価員と相談して決定
環境目標	組織が設定、著しい環境側面、法的要求事項、技術上の選択肢、利害関係者の見解等を考慮する	原則として下記6項目が必須。 CO2削減、水削減、廃棄物削減、化学物質削減、本業に則した目標、グリーン購入	「ステップ1評価」で評価員と相談して決定
経営とのリンク	標準	標準	重視
環境活動レポート	要求事項なし、作成は任意	要求事項につき作成が必須	要求事項なし、作成は任意
審査（評価）費用（初年度）※	80～150万円	21万円	42万円
審査（評価）費用（2年目以降）※	50～70万円	10万5千円	21万円
認証取得までのコンサルティング費用※	80～150万円	40～100万円	0～42万円
コンサルタント・コンサルティング	審査員とコンサルタントは、別の人物である必要あり	審査人とコンサルタントは、別の人物である必要あり	審査員（評価員）と同一人物がコンサルティング可能につ

			き、安価
審査時の審査員（評価員）のアドバイス	不可	限定的に可能	大いに可能
同一審査員（評価員）の連続年数の制限	制限なし、3年を目安に交代する機会が多い	同一審査人は4回連続したら交代する要求事項あり	制限なし、何年でも同じ評価員が担当可能
認証書の更新	3年毎	2年毎	3年毎
特徴	環境マネジメントシステム認証で、最も権威がある。海外で通用するのはISO14001のみ。費用が最も高い。	審査料金は最も安価である。要求事項が2009年に強化され、ハードルが上がった。	評価員がコンサルティングもできるので、認証取得が確実である。コンサルティングも含めれば、最も費用が安い。

※従業員数20人の金属加工部品製造業を想定した場合（消費税含む、交通費除く）